



【余暇活動】休日散歩

とある暖かいような寒くなったような日曜日。すみれの方を対象に院内のお散歩・探索へお出掛けしました。かめさんを発見したり、食堂にいい匂いを嗅ぎに行ったり、屋上で風を浴びに行ったり、最後には先生に遭遇したりと一っつても楽しい探検でした。 保育士より

みなさまこんにちは！

慌ただしく過ぎてしまった年末年始を終え、寒ーい日々の中、こどもたちは元気いっぱい過ごしています。

今回の広報誌は9月以降の施設の様子をお届けしたいと思います。秋から冬にかけての日々の様子をお楽しみください！



【余暇活動】休日散歩

とある日曜日の午後、8名のこどもたちとこども医療センター名物の亀を見に、散歩に出かけました。大きい亀をみて驚きつつ、少し肌寒い風を感じ驚いた表情を見せたり、太陽の光をまぶしそうにしていたりと、施設内では見られない表情を見せてくれました。また、晴れた日には散歩に行きたいと思います。 看護師より

【10月の行事】

～運動会～





【日中活動】ファシリティドッグ

ファシリティドッグが来てくれると、子どもたちの笑顔がやわらかくなります。オリたちの温かくてゆったりした鼓動が伝わるのでしょうか。目に見えない不思議な力に毎回驚かされます。ありのままを何も言わずに優しく受け止めてくれるファシリティドッグたち。大人の私たちも気持ちを受け止めてもらって癒されています。

保育士より



【余暇時間】



【バスハイク】 ～八景島シーパラダイス～

こども達とシーパラへ行ってきました。

お魚をじーっと見つめる姿、ペンギンと見つめ合う姿など普段では見られないこども達の可愛い姿に沢山出会えた1日でした。楽しかったね。また行こうね。

看護師より





【バスハイク】 ～スヌーピーミュージアム～

南町田の「スヌーピーミュージアム」に行ってきました。

この日、数年ぶりに外出したお友達も、バスの中ではちょっと緊張した様子でしたが、現地につくと少しずつリラックスでき、目をキョロキョロさせながら過ごしていました。

スヌーピーミュージアムの館内もツリーが飾ってあったり、とても可愛らしく、こどもたちをモデルに写真撮影が止まりません（笑）

女子のお買い物の長さややお疲れの男子も、ランチのステーキを目の前に、目をキラキラとかがやかせ、そのお味を堪能していました。

その後も散策に、お姉さんたちは時間いっぱいショッピングを楽しみ、とても有意義な1日になりました。

また、体調を整えながら色んなところにレクに参加しようね！

看護師より



【バスハイク】 ～スヌーピーミュージアム～

スヌーピーミュージアムの見学や食事の際に表情の変化があり、関わりによる笑顔もみられ、みんなで楽しく過ごすことができました。

看護師より



【9月の行事】～ひだまりラボ～

9月は、チームラボならぬ、ひだまりラボを行いました。

プロジェクター、ブラックライト、蛍光風船、大きな風船などを用いみんなで癒しの空間を作ってみました。

こども達は穏やかに過ごすことができました。 保育士より



【新規イベント】

～みちくさアート～



今年度から新たな試みとして、外部の方を呼んでの日中活動を実施しました！1回目はじっくりと紙で遊び、2回目は紙と光の組み合わせで遊びました。紙あそびでは、こども達がやぶいたり丸めた紙を、空間いっぱい張り巡らされたテープにどんどんと貼っていき、プレイルームそのものが大きな作品となりました。その紙に光があたり影ができたり、光の色が変わったり・・・参加したこども達も視覚だけでなく、聴覚や触覚などフルで使ってじっくりと楽しむことができました。

保育士より



重心施設におけるクラスター対応を経て

11月から1月にかけて、当施設にてRS感染症のクラスターが発生いたしました。入所中のこども達、そしてご家族には大なるご不便とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

感染拡大を防ぐための徹底した標準予防策により、生活には様々な制限が加わりました。防護具を着用したスタッフの姿に不安を見せるこども達の表情、そして「これ以上広げてはならない」という緊張感。一時は出口の見えない暗闇にいるような感覚に陥ることもありました。

そのような中、私たちの大きな支えとなったのは、他ならぬこども達の存在です。感染初期はからだがつらく、不機嫌になることも少なくありませんでしたが、回復するにつれて少しずつ笑顔が戻ってきました。その姿に職員一同は救われました。今回の経験を教訓に、私たちは感染の初期対応を一層重視し、安全な療養環境づくりに邁進してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

重心施設(ひだまり) 看護科長



手を洗おう



消毒しよう

～編集後記～

広報誌「ひだまり」19号はいかがでしたでしょうか。今年の秋は感染症対策に取り組みながら、少しでもこども達と楽しめるイベントを、と工夫しながら行われました。みんなの楽しんでいる表情や様子など伝わっているといいなと思います。

次回は今年度最後の年度末号。あつという間に過ぎ去ってしまわないように、日々の楽しさや新たな発見を大切にしながら過ごしていきたいと思います！

生活支援課 広報担当